

第2号様式

 SDGs達成に向けたチェックシート

記入日	令和6年1月5日	企業名	東海プラント株式会社
-----	----------	-----	------------

以下のチェック項目に対して、「現在実施している具体的な取組」「今後実施予定の取組（赤字）」を記載してください。なお、チェック項目に対応する主なSDGsの目標を右の欄に表示しておりますので、取組内容に応じて適宜ご修正ください。

No.	側面 (分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
					1 人権 人間尊重	2 経済 持続可能な開発	3 環境 資源循環	4 教育 学習機会	5 健康 福祉	6 安全 安心	7 気候変動 気候行動	8 地域 社会連携	9 デジタル 技術	10 未来 社会構築	11 まちづくり 地域活性化	12 未来 社会構築	13 まちづくり 地域活性化	14 未来 社会構築	15 まちづくり 地域活性化	16 未来 社会構築	17 まちづくり 地域活性化
1	環境	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況や温室効果ガス排出量の把握、エネルギー使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	・電力等のエネルギー使用量や温室効果ガス排出量の把握 ・省エネや温室効果ガス削減の取組の実施 ・再生可能エネルギー、グリーン電力の導入	・CO2削減のため、業務用車両としてハイブリッドカーを導入している。 ・顧客に対し、従来ある重油や灯油ボイラーなど耐用年数が経過した設備から、ガスに切り替えるよう提案している。							●				●	●					
2	環境	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R（リユース、リデュース、リサイクル）を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	・廃棄物の削減計画の推進 ・使い捨てプラスチックの使用や廃棄の削減に対する取組の実施 ・自社製品の耐久性向上による長期利用の促進 ・使用済み自社製品の回収・リサイクルの実施	・当社は産廃収集運搬業をしているため、集めた浄化槽の汚泥を協力業者（第1次処理）が乾燥粉末にして、ブロックや路面のコンクリートの材料（副資材）として再利用している。								●			●	●	●	●			
3	環境	健全な森林環境や河川環境を維持するための活動など、生態系の保全に努め、地域や他団体が実施する環境保全活動に協力・支援している。	・海や山などにおけるゴミ拾い活動 ・生物多様性に配慮した持続可能な資源利用 ・市の自然環境保全活動への協力・賛同	・当社は環境アセスメントの事業をしているため、海、川、山、湖や土壤の調査を日々しており、周辺の自然環境の破壊の防止を常に留意しながら環境保全活動に取り組んでいる。											●	●	●	●			
4	社会 環境	事業に伴う調達について、環境負荷や人権などに配慮している。	・認証製品など非合法材でない原材料の調達 ・サプライヤーやパートナー企業に対して、人権尊重や生物多様性の重要性、ハラスメント防止等の重要性を説明し、その遵守を要請	・実施している環境保全活動に基づき、毎月2回TQC会議をしている。										●	●	●	●	●			
5	経済 社会	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に積極的に取り組んでいる。	・製品安全に関する方針、目標、組織体制、基準等の整備 ・不具合発生時の対応手順の整備 ・ISO9001の取得	・平成17年にISO9001を取得している。 ・創業時から顧客の緊急クレーム（故障や不具合）に対して対応できるよう、24時間365日体制を実施している。								●	●		●						
6	経済 社会 環境	環境に配慮した製品の開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	・環境に配慮した材料、製品、サービスを提供 ・製造過程におけるCO2排出量やプラスチック使用量の削減を設計時に考慮 ・医療、教育、地方創生、人手不足等の社会課題の解決を目的とした製品・サービスの開発	・配水管や下水管等は、顧客が実施する交換工事の際に、腐食や耐久性に優れた材質の水道用耐熱硬質塗装ビニールライニング鋼管等に切り替えを勧め、採用してもらうよう取り計らっている。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
7	経済 社会	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、ワークライフバランスの推進や良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	・年次有給休暇の取得や長時間労働の抑制に関する方針、ルールが社内規程で定められている ・テレワークの導入 ・早帰り、ノー残業デーの推進	・当社は設備メンテナンス業が主業務であり、24時間365日体制を大前提としているため、クレーム出勤時は時間外や深夜が多く、月2回は平日休みを取得できる取組をしている。			●		●		●		●		●						
8	社会	年齢、性別、国籍、障がいの有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	・男女共同参画推進事業所認定制度の認定を受けています ・職場のバリアフリー化等、誰もが使いやすい職場環境の整備 ・短縮勤務、在宅勤務等の制度整備、利用促進	・ベトナム人を一人採用し、平等に雇用している。				●			●		●		●						
9	社会	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメント等、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	・ハラスメントの禁止についての社内規程の策定 ・ハラスメント研修の実施 ・ハラスメント相談窓口の設置	・連帯意識の向上と交流のため、月1回の職場単位の食事会や会社全体の懇親会を実施し、ハラスメントの無い環境（人間関係）作りをしている。					●			●									

No.	側面 (分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
					1 顧客情報のデータ化によるテレワークや フリーオフィス化の推進	2 現場移動時間の短縮による効率化	3 従業員の作業時間の短縮による効率化	4 ビジネスマッチングによる業務効率化	5 従業員の労働環境の整備	6 リスクマネジメント体制の構築	7 地域活性化による貢献	8 デジタル化による業務効率化	9 プロジェクトマネジメントによる効率化	10 テレワークによる効率化	11 フリーオフィスによる効率化	12 リモートワークによる効率化	13 パートナーシップによる効率化	14 エコロジーによる効率化	15 経済的効率化による効率化	16 社会貢献による効率化	17 環境保護による効率化
10	経済 社会	ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化など、業務の効率化やビジネスモデルの変革などに取り組んでる。	・顧客の情報をデータ化することによるテレワークやフリーオフィス化の推進 ・ICT機器の導入による従業員の作業時間の短縮	・作業の時期短縮と効率化を実施している。 →顧客が東西南北と広範囲にわたるため、現場移動の時間がかかるため、宿泊して集中作業している（交通費も削減）。								●	●	●	●						
11	社会	若者の就業や移住を促進するため、UIJターンの推進など、若者の定着に向けた取組を行っている。	・インターンシップの受入 ・市外在住の求職者への説明会の実施 ・WEBなどを活用した若者向けの情報発信	・地元を主体に求人採用している。 →伊東市から採用した技術員は、本社（沼津）に週1回出勤してもらい、残りの勤務日は熱海から下田地域を伊東営業所からまわってもらうよう勤務を調整し、地元の若者などが働きやすい環境を整えている。			●					●	●								
12	社会	疫病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	・ストレスチェックの実施 ・メンタルヘルス研修の実施 ・メンタルヘルス疾患に対応した休職規程の整備	・社員の健康管理のため、常時専任の看護師を1名採用している。 ・3か月/1回、産業医を招き、健康指導している。 ・希望者に対してPET検査の実施 ・休業の1年給与保証		●						●									
13	経済 社会	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に努めている。	・職務、役割等に応じた研修の整備 ・通信講座や社外セミナーへの費用補助等、従業員が学習する仕組み、学習を支援する仕組みを構築する	・全額会社負担による積極的な資格取得の促進 ・資格によっては、退職後も永久的に月1万円を支給している。			●					●							●		
14	社会	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	・コンプライアンスについて社内規程の策定 ・コンプライアンス研修の実施 ・コンプライアンス違反通報窓口の設置	・就業規則の中でコンプライアンスについて明記してある。 ・目安箱を設置し、コンプライアンス違反等の早期発見に努めている。								●	●						●		
15	経済 社会	自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設置し、取組計画の策定、運用を行っている。	・サステナビリティ推進委員会等の推進組織、担当部署、担当者の設置 ・推進計画に基づく取組の運用	・利益追求ではなく、社会のため、顧客第一の理念を基に活動し、全ての環境を良くして、世の中に貢献していく考え方を基準に、社員教育している。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
16	経済 社会 環境	自社の環境、社会、ガバナンスに関する取組を社外に公開している。	・自社の環境情報の公開、人権、労働に関する取組、リスクマネジメント体制のガバナンス情報をHPで公開している	・HPでの発信等、会社運営を透明化することで地域に理解してもらい、環境保全の役割を会社の使命として業務に取り組んでいる。												●					
17	自由 記述	環境・経済・社会			・和合、調和、社会貢献														●	●	

※現在実施している具体的な取組又は今後実施予定の取組について、以下の2点を満たしたうえで提出してください。

- ①経済・社会・環境の3つの側面それぞれについて、取組を設定していること
- ②10項目以上記載すること